

広報クイズ③

500円の図書券が当たるよ

広報クイズ、5月号の正解は①—A
②—B、③—Cでした。応募総数は27
通で、全員が全問正解でした。読者の
皆さんとのたいせつなコミュニケーシ
ョンの輪を、もっともっと大きく広げ
たいと思います。たくさん応募してね!

【問題】

- ①「ふるさと創生」のアイデア募集。
応募件数は? (ヒント=2ページ)
A481件 B281件 C81件
- ②チュリップ花品評会で1位になっ
た品種の色は? (ヒント=11ページ)
A深みのある赤 B鮮やかな黄色
C淡いピンク
- ③ナイスふ〜ど新潟'89が開かれるのは
いつから? (ヒント=11ページ)
A7月1日 B7月14日 C7月20日

【応募方法】

♥はがきに答えの記号(例、①—A)、
住所、氏名、年齢を書いて送ってくだ
さい。全問正解者の中から抽選で5人
に500円の図書券をプレゼント。クイ
ズの答えのほかにご意見、イラスト、
情報などなんでも書いてね。

♥あて先=〒950-12 白根市大字白根
1235 白根市役所 広報クイズ係
♥締め切り=6月20日(火)必着
♥抽選=6月21日(水)に市民生活課の
窓口に来られた人をお願いします。
♥発表=7月1日号

5月の広報クイズ
当選

おめでとう

- ▶仲野聡美さん(茨曾根)
- ▶落田明康さん(水道町・9歳)
- ▶西方亮さん(十五間・9歳)
- ▶西方文明さん(十五間・36歳)
- ▶斎藤ユミさん(大字七軒・38歳)

5月22日(月)に市民生活課窓口に来られた杉
本レイ子さんから抽選していただきました。
【おわび】4月のクイズで当選した亀田恵
理子さんは亀山恵理子さんの誤りでした。
ごめんなさい。

はがきで
キャッチボール



4月1日号の広報クイズに
お寄せいただいたはがきの
中からいくつか紹介します。

私 はクイズが大好きです。五
人の中に選ばれる可能性は
ゼロですが、出さなければ当た
りません。当たりますように「
と、夢いっぱいです。「広報し
ろね」も企画一新。小学生から
お年寄りまで、幅広い層に親し
まれるように努力していらっし
やる皆さんに感謝しています。
今後も楽しい話題をよろしく。
大通一丁目 青木きよ子

イ ラストが入ったり若い人の
写真が載ったりで、とても
若返ったように思います。また
読みやすくなりましたし、より
市民の広報紙になったようで、
親しみを覚えます。
高井興野 富所蘭子
ありがとうございます。家族
みんなで読む広報紙作りに
これからもがんばります。

最 近犬を飼う家庭が多くなり
ました。朝晩散歩に連れて
行く人をよく見かけ、なるほど
ビニール袋を持って散歩してい
る人もいます。しかしフンを入
れて帰る人を見たことは
ありません。
あるとき私は、家の中から散
歩に来た人を見ました。案
の定、犬は待たなしたにフンを
しました。しかしその人は、私
が見ているのも知らずに、辺り
を見回し、人影がないと思っ
たのか、そのまま行ってしま
いました。たまたまその人は袋を持
っていません。

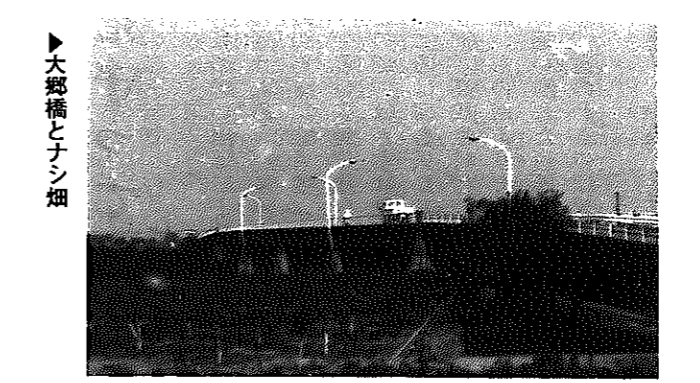
フ ンや鳴き声、放し飼いな
ど犬についての苦情は後を断
ちません。飼う以上はペットも
家族、社会の一員です。最低の
ルールは守りたいですね。
白根 匿名希望

ほ んとうに出さなければ当
らぬのが、クイズです。
最初とあって当たる確率はかな
り高かったのですが、是非ま
た挑戦してくださいね。
近犬を飼う家庭が多くなり
ました。朝晩散歩に連れて
行く人をよく見かけ、なるほど
ビニール袋を持って散歩してい
る人もいます。しかしフンを入
れて帰る人を見たことは
ありません。
あるとき私は、家の中から散
歩に来た人を見ました。案
の定、犬は待たなしたにフンを
しました。しかしその人は、私
が見ているのも知らずに、辺り
を見回し、人影がないと思っ
たのか、そのまま行ってしま
いました。たまたまその人は袋を持
っていません。

私は出て行って、その袋は何
のために持っておられるので
かと、尋ねたいと思いましたが、
飼い主さん、人が見ている、
いないにかかわらず、かわい
い我が子のフンと思っ、必ず始
末してください。見せかけにビ
ニール袋を持ち歩くのではなく
フンは必ず持って帰ってください
い。お願いします。
これから暑くなると、ハエが
たまったりして、衛生にも良く
ありません。きれいな町づくり
のために、是非お願いします。
白根 匿名希望

市民談話室

7月1日号の原稿を募集します。皆さんが
日ごろ考えていることや身近な出来事など、
気軽に投稿してください。字数は400字から
500字程度とします。あて先は、〒950-12
白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整
課 広報広聴係(☎373-2111)@333)です。



大郷橋とナシ畑
忘れもしません、昭和三十
九年六月十六日午後一時ごろ、突
如として起こった大地震。新潟
地震です。そのとき大郷橋は曲
がり、落ちそうになりました。
新潟へ行くにはどうしても大郷
橋を渡らなければなりません。
みなでおそろおそろ渡る不便
さ、恐さは忘れられません。
今は亡き主人は盲学校に寄宿
中でした。帰省するのを迎える
にきました。帰りに大郷橋を渡
らなければなりません。目の見
えない主人の手を引きながら、

高野ミツさん(中大郷主婦六十四歳)
危険な細い橋幅のところであ
っていると、通りかかった大郷
の長谷川吉照さんが、亡き主人
をおんぶして、危険なところを
素早く通り抜けてくださいまし
た。不自由な主人の目に、涙が
浮かんでいたので思い出す度に
胸がぐちゃぐちゃになります。
災害復旧でいち早く立派にな
った大郷橋。母なる信濃川と大
郷ナシのふるさとを一望し、重要
な道路網として車社会に対応す
る大郷橋。これからも私たちの
生活を守ってほしい大郷橋です。

**突如として孤立
一変して暗い街と化す**
昭和三十九年六月十六日午後
一時二分、突如として襲った新
潟地震。当時私の職場は、西大
畑町の高台にあった。構内でひ
なたぼっこをしていたら、突然
グラグラと揺れ、傍らの自転
車がバタバタと倒れた。
まもなく中央埠頭の方に黒煙
が噴き上がった。火力発電所の
方向である。地震ではなく、何
か爆発ではないかと叫ぶ人も

いた。黒煙は高く昇り、しだい
にきのこ状に上部に広がり始め
た。
昼休みのため、大半の職員が
外出していた。道路の亀裂と地
下水の噴出で泥だらけになって
帰ってきたが、断水のため手足
が洗えずたいへんな騒ぎであっ
た。
信濃川沿いではビルが埋没し
たり、四階建てアパートが横倒
しになるなど、惨状たるもので

あった。電話、電気、水道や、
橋をはじめ道路、軌道が破壊さ
れてしまった。
津波警報が出た。市民は海岸
沿いの高台へと避難し、道路は
人波であふれた。松林や道路端
で夜を過ごした人も多かった。
農林省直轄であった職場は、
本省と連絡が取れず混乱した。
東京から石川県、富山県を経て
長岡出張所へ、長岡から自動車
と徒歩で新潟への連絡に当たっ
たものである。二、三日後には
黒煙は空一面をおおい、薄暗い
街に一変した。新潟大火とともに
私には忘れがたい思い出であ
る。

訂正とおわび
5月1日号「ゲートボール練習機を考案」
の相田豊治さんの電話番号を373-6279と掲載
してしまいました。362-6279の誤りでしたの
で、訂正しておわびいた
します。

I'm Sorry.

川柳
万華鏡のぞき多情な恋をする 今井 七郎
亡き父にそっくり描けた肖像画 織田 セツ
モニタージュ甘いマスクの知能犯 竹石 甚五
もう初夏を競演してる水芭蕉 後藤マサノ
この判を捺すと他人になつてゆく 佐藤トミノ
代読の祝辞は軽くなる拍手 佐藤 ヨキ
甘言で心の鏡が脱がされず 高橋祐四雄
美容院他人のような顔になる 田中 成子
少年の夢は世界に虹をかけ 田村 恒夫
竹藪の無人金庫に人集り 中村 尚治
十字切り信じてる瞳がひざまずく 西条 ムラ
長文の祝詞に鯛が欠伸する 早川 英男
真実の足跡だから憚らず 山岡 フミ
加速して墮ちる女の流れ星 吉川 彰
サロンパス貼る連休の後遺症 米野 光雄

俳句
初孫の入学窓越しに見てうれし 玉木 長吉
朝露に燦百合やさし岩陰は 波辺 勤

短歌
一軒の新築されし家ありて 若葉の道に木の香漂う 中村 京
何処行くも出家坊主にうたがはれ 中村 京
さりとして御布施は一度たり無し 小出熊四郎
溪流のほとりに腰掛け宿眺め 小出よしの
山菜料理の夕げ楽しむ 小出よしの
温泉の匂い吸い込む湯の中に 長谷川久二
心安らぐ旅の宿にて

